武器の恐れを静める祈り

タントン・ギェルポⁱⁱ(1361～1458)ⁱⁱ作、永沢哲訳

オーム・マニ・パドメ・フーム

勝利者ⁱⁱたる慈愛のブツダ・マイトレーヤ、
至高なる観自在菩薩、
忿怒の相を示す勝利者たるハヤグリーヴァ、
純浄なる聖ターラ、
その聖なる御名を耳にするだけで、すべての危険が取り除かれる帰依処、
慈悲を本性とする方たちよ、どうかお見守りください！

いくさの時代にあって五つの濁れに汚された有情たち。
悪しきカルマと嫉妬が嘔き上げ、
激しい戦いに荒れる苦しみ的大海を、
彼岸にいたった知恵と慈悲の力によって、
乾かせてください！

燃え盛る怒りの炎のなかで、
生きまどう迷える生きものたちに大いなる慈愛の甘露の雨を降らせ、
おたがいが親だったことを思い出させてください！
喜びと吉祥が増し栄えるように、加持を与えてください！

心の連続体に入りこんでは、
人の心を阿修羅に変じさせる無数の悪霊たちⁱⁱⁱが、
この後、断じて世界を走り回しませんように！

悪しきカルマの因果によって、
戦いの中で死んだものたちもまた、
極楽浄土に往生し、
他の者たちを浄土に導いてくれますように！

生死の中にあるすべての生きものが
長寿に恵まれ、病なく、
すべての言い争い、戦いが静まり、
十の優れた徳を楽しみますように！

正しい時に雨が降り落ち、
変わることなく、よき実りが得られますように！
住む場所にも、生きものたちにも、
吉祥が溢れ、いやさかに榮えますように！

清らかな法性と過つことのない因果、
慈悲深き導師、心を封印する本尊、
宝のごとき至高の方たちの力によって、
清らかな祈りの言葉が実現しますように！

チベットのカム地方、ミニャクの地に戦乱が打ち続き、誰も平和をもたらすことができなかつた時、大いなる成就者の主タントン・ギャルポは、和平のためカムにいらっしゃった。ただ悟りに向う心を起こし、この真実の言葉を口に花をまかれただけで、すべての怒り、嫉み、悪しき心は静まり、止むことのない戦は終結した。彼の地には大いなる実りがもたらされ、国には吉祥と平和が満ちた。加持ある金剛の言葉である。

i チベットの聖者。サキヤ派、ニンマ派、シャンパカギユ派の教えに通暁した。チベットに密教をもたらしたウッディヤーナ国出身の阿闍梨パドマサンバヴァの転生者とされ、多くの神通と世俗の常識を逆なでする風狂の振る舞いで知られる。ルネッサンス的な天才で、現在のブータンを含むチベット全土に三百あまりの橋を建設し、また宗教オペラである「ラモ」を創始した。示寂のさいその体は空中に浮かび上がり、光となって消えたと伝えられる。

ii みずからの煩悩を克服し勝利したもの。すなわちブツダを意味する。

iii チャダル・リンポチェ（1913～2015）によれば、核戦争の危機をはらむ現代の政治家たちの心には、悪霊が入り込んでいるという。